



第 76号

2021年5月発行



発行

愛知県がんセンター

Tel. 052-762-6111(代)

がん光免疫療法（イルミノックス治療）



頭頸部外科部長
花井 信広

当院で行っているがん光免疫療法（イルミノックス治療）は、楽天メディカル社が開発した薬剤アキシャルクス®点滴静注とレーザー光照射を行う治療法です。頭頸部癌に対するイルミノックス治療は世界に先駆けて国内承認され、2021年1月から保険診療として可能となりました。

これは「光感受性物質」を特定の細胞へ選択的に集積し、「光照射」により同細胞を壊死させる治療技術基盤（イルミノックスプラットフォーム）によるもので、米国立がん研究所（NCI）の小林久隆先生が開発した「がん光免疫療法」を基に発展した治療です。

【頭頸部イルミノックス治療のしくみ】

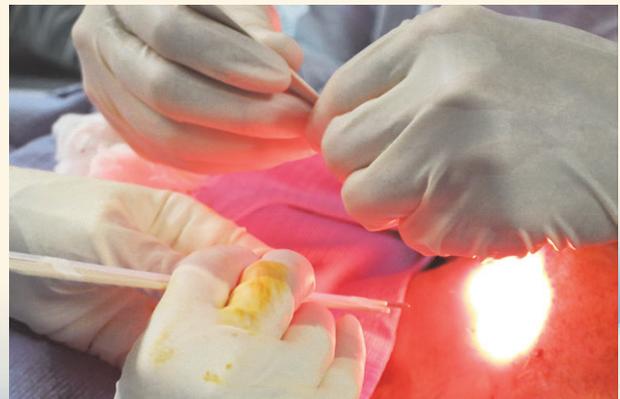
- ① 頭頸部がんの表面に多く発現しているEGFR（上皮成長因子受容体）に点滴投与された光感受性物質が結合します。
- ② 光感受性物質が結合したがん細胞にレーザー光をあけると色素が反応します。
- ③ がん細胞の細胞膜が破壊され、がん細胞が壊死を起こし、死滅します。

対象は「切除不能な局所進行又は局所再発の頭頸部癌」です。治療の適応については、有効性、安全性のバランスを踏まえながら、慎重に決定致します。基本的には従来からの標準治療が優先されますが、新たに頭頸部イルミノックス治療という選択肢が増えたわけです。

本治療は既に当院で実施しております。イルミノックス治療含め頭頸部がんに関すること、様々な疑問等ありましたら、遠慮なく頭頸部外科部へご相談ください。



レーザー装置（BioBlade®レーザー）



レーザー光照射の実施場面

研究所長就任のあいさつ



研究所長
井本 逸勢

この度、研究所長を拝命致しました井本逸勢です。2018年に病院リスク評価センター長・研究所分子遺伝学分野長として赴任して3年での拝命で、心引き締まる思いです。

愛知県がんセンター研究所は、全国から多彩な研究者が集まり、がん克服を目指して病院と協力し切磋琢磨しながら創造的研究活動を行う伝統ある研究機関です。近年は、

高橋隆前所長の推進された組織改革により更に研究力を強化するとともに、がんゲノム医療など先進的な医療を病院で実施する上で欠かせない存在として総合がんセンター機能の一翼を担っています。

研究所には、がんの予防や診断・治療の進歩に寄与する優れた研究成果を世界に発信するとともに、国内外の研究機関が協働するがん研究拠点としての役割を果たすという大きな責務があります。これらを達成するために、研究所長として精進していく覚悟ですので、みなさまには引き続き研究所に対して変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

副院長就任のあいさつ



副院長
山本 一仁

4月1日付けで副院長を拝命しました山本一仁です。これまで、血液・細胞療法部、輸血部、感染対策・感染症内科部、臨床試験部の各部長として仕事に取り組んできましたが、これからは副院長として、部門のみならず、がんセンター全体のことを考えながら役割を果たすことが必要となり、身の引き締まる思いです。

現在、当院は、病院長の主導のもと、一丸となって特定機能病院取得に向けて取り組んでおり、あと一歩のところまできています。当院のミッション・目指すところを考えると、特定機能病院取得は、患者さんに安心・安全な医療を提供するための基盤となる資格であり、まずは確実に取得できるように副院長として取り組みたいと思います。一方で、特定機能病院を取得することにより、がんセンターが患者さんをはじめとした皆様にどのような医療を提供し、将来に向けてがんセンターをどのように発展させていくのが大切と考えています。副院長として、病院長、がんセンター職員と力を合わせて、愛知県がんセンターの発展に微力ながら尽力する所存です。ご指導、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

部長就任のあいさつ



呼吸器内科部長
藤原 豊

私は1999年に名古屋大学医学部を卒業後、名古屋第一赤十字病院、国立がん研究センター中央病院で研修を受けた後、神戸大学医学部腫瘍・血液内科で幅広い固形腫瘍診療を、国立がん研究センター中央病院で呼吸器腫瘍診療と新規抗がん薬開発を、前任の三井記念病院では肺がん治療を含む呼吸器疾患診療をと、幅広いがん診療を様々な地域で行ってきました。現在の肺がん治療のトピックであるがん免疫療法やゲノム医療の開発や実践にもこれまで長らくかかわってきています。

愛知県がんセンターでのがん治療における大切なことは、患者さんに標準治療および試験治療を含めた最適な治療を提供し、十分な説明のもと納得のいくがん治療を受けていただくことだと思います。またこれからは、サバイバーの方の支援に取り組むことも大切だと思います。そのために多職種のエキスパートと協力して診療にあたらせていただく所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



泌尿器科部長
小島 崇宏

皆様、はじめまして。2021年4月より泌尿器科部長を拝命しました小島崇宏です。名古屋市立大学を卒業後、筑波大学の腎泌尿器外科に入局いたしました。筑波大学では腹腔鏡手術やロボット手術などの外科的治療、治験や臨床試験など新たな薬物治療の開発に関わってきました。泌尿器がん罹患される患者さんの高齢化は益々進んでおり、画一的な治療ではなく、患者さん一人一人に合った最良の医療が求められています。愛知県がんセンターの基本理念にもありますように、『最先端の研究成果に基づいた最良のがん治療』が提供できるようチーム一丸となって日々努めて参ります。尿路のがんでお困りのことがありましたら、いつでもお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願い致します。



脳神経外科部長
大野真佐輔

2021年4月1日付で脳神経外科部長を拝命しました大野真佐輔と申します。前任施設である国立病院機構名古屋医療センターでは、脳神経外科専門医として脳卒中、重傷頭部外傷等の一般的診療に従事する傍ら、脊椎脊髄外科、定位機能脳神経外科、脳卒中等のサブスペシャリティ領域の研究に努め認定医を取得してまいりました。

当院脳神経外科部は設立から5年と新しい部門です。前任部長の元では主に転移性脳腫瘍および転移性脊椎腫瘍の手術を手がけ順調に実績を積み重ねてまいりました。近年、脳神経外科領域の腫瘍の手術は高度な設備と機材が必要となりつつあり、地域医療施設間の連携が重要となってきております。今後は前任部長の実績を引き継ぎながら名古屋大学脳神経外科およびその関連施設との連携を強化しつつ、地域の脳神経外科領域の腫瘍治療に貢献していく所存です。

2021年度 愛知県がんセンター公開講座（オンデマンド配信）

◇配信期間及びテーマ

回	配信期間	申込期間	テ ー マ	講 師
1	2021年 5月14日（金）14時から 5月28日（金）14時まで	2021年 4月30日（金） から 5月26日（水） まで	講演「女性のがん－治療の最前線－」 ①卵巣がん治療Up-to-Date ②子宮がん治療Up-to-Date ③乳がん手術最前線 ④乳がん薬物療法最前線	司会：副院長兼乳腺科部長 岩田 広治 婦人科部 医長 森 正彦 婦人科部 部長 鈴木 史朗 乳腺科部 医長 小谷はるる 乳腺科部 医長 服部 正也
2	2021年 7月2日（金）14時から 7月16日（金）14時まで	2021年 6月18日（金） から 7月14日（水） まで	講演「血液がん治療のツートップ： 遺伝子と免疫に基づく治療 －新しい分子標的治療と細胞治療－」 ①血液がんとは ②遺伝子の異常に基づいた血液がん治療 ③造血幹細胞移植：古くて新しい細胞治療 ④新しい細胞療法：CAR-T治療	司会：副院長兼血液・細胞療法部長 山本 一仁 副院長兼血液・細胞療法部長 山本 一仁 血液・細胞療法部 医長 柳田 正光 血液・細胞療法部 医長 田地 浩史 腫瘍免疫応答研究分野 分野長 籠谷 勇紀
3	がん征圧月間 【がん征圧講演会】 2021年 9月3日（金）14時から 9月17日（金）14時まで	2021年 8月20日（金） から 9月15日（水） まで	講演「がん診断最前線」 ①がんのわかりやすさを診断する時代の到来 ②血液検査でがんを見つける： がん早期診断研究の最前線 ③診断困難例に対する低侵襲内視鏡的診断法 ④愛知県がんセンターの連携体制と最新の 肺がん診断 特別講演 「がん患者における新型コロナウイルス感染対策」	司会：分子診断トランスレーショナル リサーチ分野 分野長 田口 歩 がん予防研究分野 分野長 松尾恵太郎 分子診断トランスレーショナル リサーチ分野 分野長 田口 歩 消化器内科部 部長 原 和生 呼吸器内科部 部長 藤原 豊 感染症内科部 医長 伊東 直哉
4	2021年 11月5日（金）14時から 11月19日（金）14時まで	2021年 10月22日（金） から 11月17日（水） まで	講演「頭頸部がん治療、最新の進歩」 ①経口的機能温存手術 －ロボット手術で残す食事・会話の機能－ ②頭頸部がん放射線治療の進歩 －AIが支える最先端の高精度放射線治療－ ③頭頸部がんに対する薬物療法の最前線 －免疫療法を中心に－	司会：頭頸部外科部 部長 花井 信広 頭頸部外科部 医長 西川 大輔 放射線治療部 医長 小出雄太郎 薬物療法部 医長 門脇 重憲
5	2022年 2月4日（金）14時から 2月18日（金）14時まで	2022年 1月21日（金） から 2月16日（水） まで	講演「大腸がん診療の進歩」 ①大腸がんの撲滅に向けて内視鏡ができること ②大腸がんの手術療法について ③がんの遺伝診療からせまる 大腸がんの予防・早期診断・治療	司会：病院長 丹羽 康正 内視鏡部 部長 田近 正洋 集中治療部 部長 小森 康司 研究所長 井本 逸勢

◇視聴料：無 料（ただし、通信料は、自己負担となります。）

◇視聴方法：事前申込が必要です。

※事前に愛知県がんセンターWebページの公開講座申込みフォームより **お申込みください。**

YouTubeによるオンデマンド配信です。事前申込みされた方に、視聴するためのURLをメールにてお送りします。

◇対象者：どなたでも事前申込のうえ、受講できます。

ただし、視聴するためのインターネット環境が必要です。

◇その他：

- この内容は、愛知県がんセンターWebページでも御覧になれます。
- 申し込みいただいた方の個人情報は、当該目的以外に使用しません。
- 都合により予告なく中止、講演内容等の変更をすることがあります。

【問い合わせ先】

愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号

*TEL（代表）052-762-6111（内線2511）*FAX 052-764-2963

*公開講座ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/cc/03kouza/index.html>

患者さん、登録医、がんセンターをつなぐホットな1頁

とうろく医探訪 No.19

Produced by
地域医療連携・相談支援センター

こんどう整形外科リウマチクリニック 院長:近藤 健治 先生



愛知県がんセンターの先生方、スタッフの皆様には日頃より病診連携で大変お世話になり、感謝しております。当院は地下鉄池下駅から北へ向かった、名電高校の南側に位置し、整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科を標榜し、開業して18年になります。専門である関節リウマチの治療だけでなく、整形外科的疾患を幅広く診療しております。超高齢社会を見据えて、変性疾患（膝、腰など）によるロコモティブシンドロームの予防、改善および骨粗鬆症の治療にも力を入れています。

がんセンターの整形外科の先生方とは12年ほど前から「自由ヶ丘整形外科医会」という病診連携の会を立ち上げて、微力ながらこの会の代表幹事を務めさせてもらっています。紹介した患者様の治療経過や骨軟部腫瘍について整形外科部長の筑紫先生をはじめとしてスタッフの先生方と一緒に勉強させてもらっています。通常、国内外に名が通ったがんセンターのような高度専門病院は、敷居が高く簡単に紹介しにくいというイメージがあります。しかしながら、良性骨軟部腫瘍から悪性腫瘍、転移性骨腫瘍に至るまで

分け隔てなく対応し、懇切丁寧に検査、診断、治療をしていただいております。そのため紹介した患者様の満足度もとても高いです。この場をお借りして、御礼申し上げます。

今後も「自由ヶ丘整形外科医会」の存続と、整形外科だけでなく他科の先生方も良好な病診連携をどうぞよろしくお願い申し上げます。



こんどう整形外科リウマチクリニック

診療科目／整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科

電話／TEL 052-725-7888

所在地／〒464-0071 愛知県名古屋市千種区若水3-5-23

ホームページ／<https://www.kondo-seikei.net>

場所はコチラ！

- ◎ 池下から徒歩15分
- ◎ 地下鉄池下駅3番・4番バス乗り場 幹砂田1系統「大森車庫」行、若水三丁目下車



時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前 9:00-12:00	○	○	○	○	○	○	—
午後 4:00- 7:00	○	○	—	○	○	—	—



編集後記：地下鉄東山通線・池下駅より出来町通へと延びる道の途中の通り沿い、ちょうど千種区の愛工大名電高校の南側にあります。平成15年に開院され、近藤先生のご専門である関節リウマチの診療を中心に、骨粗鬆症、変形性関節症、脊椎疾患、外傷など一般整形外科診療にも対応可能な、地域に根ざしたクリニックです。当院へは主に骨軟部腫瘍の患者さんをご紹介いただいております。今後ともよろしく願いいたします。 Y.SANO

保健医療ビッグデータを活用したがんの空間疫学研究

研究所 がん情報・対策研究分野



がん情報・対策研究分野長
伊藤秀美

日本人の死因の第一位で、2人に1人が罹患し5人に1人が死亡するがんにおいて、都道府県レベルあるいは市町村レベルで、罹患・死亡の地域格差が拡大していると言われています。その地域格差の縮小が、がん罹患・死亡の低減につながります。

私達は、愛知県がんセンターの重点プロジェクトとして、社会経済分野、保健医療分野の公的なビッグデータを利用し、それぞれの情報を視覚化・指標化し地理的に情報を連結することで、社会経済的要因、生活習慣に関するリスク行動、保健医療サービスへのアクセシビリティの地域的な違いが、がん罹患・死亡の格差に与える影響について、空間疫学的手法を用いて多面的に評価しています（図1）。

当分野が立ち上がって3年が経過し、国や県が保有する様々なビッグデータを収集し加工して、解析に用いる情報基盤が完成しました。今後は、個人情報保護に十分配慮しながら、がん罹患・死亡の地域格差縮小のための介入ポイントを明らかにすることを目指して、解析を進めていきたいと思っております。図2は、がん罹患を学校区別に色分けして地図上に視覚化したものです。がんの罹患状況が、愛知県全体と比べて高い、同じ、低いを、それぞれ赤、グレー、青で表しています。今後、様々な指標の関連を評価します。研究成果を愛知県や県内の市町村に還元することで、その地域に特化したがん対策の優先順位付けに役立てることができれば、がんになつたり、がんで死亡したりする愛知県民を減らすことに貢献できると考えています。

図1は、がん罹患・死亡の地域格差を縮小するための介入ポイントを明らかにすることを目指して、解析を進めていきたいと思っております。図2は、がん罹患を学校区別に色分けして地図上に視覚化したものです。がんの罹患状況が、愛知県全体と比べて高い、同じ、低いを、それぞれ赤、グレー、青で表しています。今後、様々な指標の関連を評価します。研究成果を愛知県や県内の市町村に還元することで、その地域に特化したがん対策の優先順位付けに役立てることができれば、がんになつたり、がんで死亡したりする愛知県民を減らすことに貢献できると考えています。

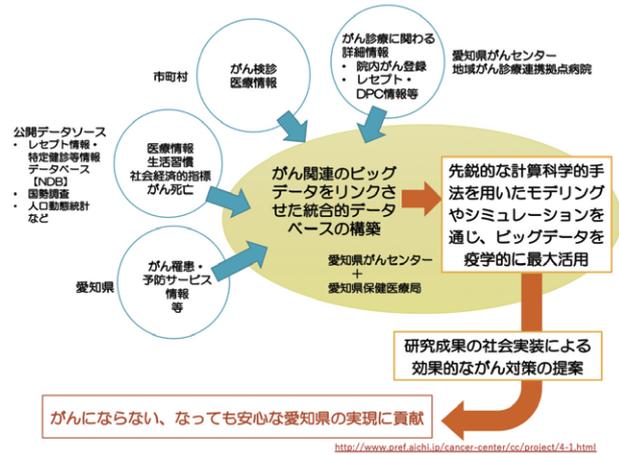


図1 研究のコンセプト

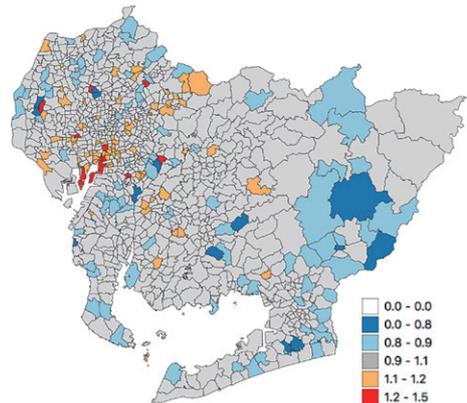


図2 2008-2012年診断のがんの標準化罹患比 (学校区別)

新型コロナウイルスワクチン接種について

当院においても2021年4月23日より新型コロナワクチン接種が開始となりました。接種後2日以内に体調不良となる人が多くなることが報告されているため、当院では被接種者が接種後に休みを取れる体制を取っています。

接種した当日から翌日には、発熱、接種部位の痛み、倦怠感、頭痛などが起こることがあります。2回目の接種では副反応の頻度が高くなると報告されていますが、ほとんどの人は安全に接種することが可能です。

新型コロナワクチンは、発症予防効果95%で重症化を防ぐこともできるという効果があります。また最近の知見では感染そのものも防ぐことが分かってきました。自分が感染しにくくなるということは、周囲の人へも感染させにくくなることになり、集団免疫効果が期待されます。新型コロナワクチンは国内での流行を収束に向かわせるための切り札であり、接種については是非前向きに検討いただければと思います。



ワクチン接種を受ける丹羽病院長

感染制御部 室長 伊東直哉

消化器疾患(膵嚢胞)に対する人工知能を用いた自動診断

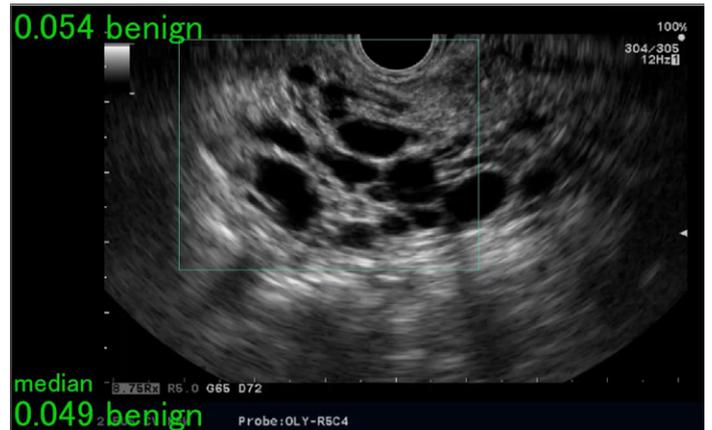
病院 消化器内科部



消化器内科部 医長
桑原崇通

消化器疾患（特に膵疾患）の確定診断は主にEUS-FNA（超音波内視鏡下吸引生検）などを行って得た検体を用いて病理診断を行うことが多いですが、膵嚢胞のように術前に病理診断が困難な疾患（播種の危険性、画像診断のみでは診断が困難）があります。当科ではその精度が大幅に向上した人工知能を用い、膵嚢胞をはじめとした消化器疾患の画像診断への応用を試みております。長年蓄積した膵嚢胞の

超音波内視鏡画像を用い、スーパーコンピュータを用いて人工知能（ディープラーニング）を自動的に学習させ、良悪性を自動で判断するソフトウェアを作成しました。作成した人工知能の診断能は、既存の診断能（70%前後）を有意に上回る診断能（90%前後）を有していました。人工知能は日進月歩で、今後さらに診断能が上昇し様々な疾患の診断を自動で行うことが可能になると思われます。様々なハードルはありますが、人工知能によって診断が難しい疾患を含め、あらゆる病気が瞬時に簡単に診断することができる日を夢見て日々研究をおこなっています。



当科で作成した人工知能の画像：画面中央にある膵嚢胞画像が、良性 (benign) と判定されております。

```
dist.barrier()

if lrank != 0:
    train_set = cifar10(transform=train_transform, train=True)
    valid_set = cifar10(transform=valid_transform, train=False)

dist.barrier()

train_sampler = torch.utils.data.distributed.DistributedSampler(
    train_set, num_replicas=wsz, rank=wrank, shuffle=True,
)
valid_sampler = torch.utils.data.distributed.DistributedSampler(
    valid_set, num_replicas=wsz, rank=wrank, shuffle=False,
)

train_loader = torch.utils.data.DataLoader(
    train_set, batch_size=opts.batch_size, sampler=train_sampler, **kwargs,
)
valid_loader = torch.utils.data.DataLoader(
    valid_set, batch_size=opts.batch_size, sampler=valid_sampler, **kwargs,
```



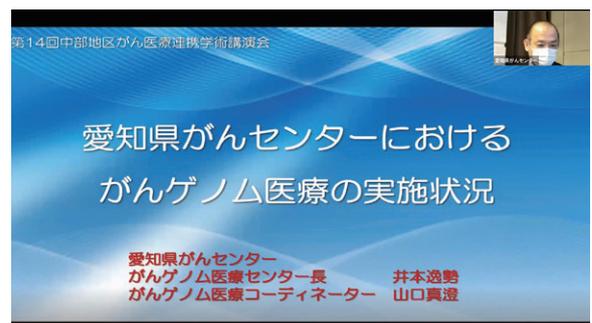
左：人工知能はプログラミングコードを数千から数万行記載して作成します。
右：作成した人工知能はスーパーコンピュータを用いて学習させます。

第14回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました

2月27日（土）に近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、第14回中部地区がん医療連携学術講演会をオンラインで開催しました。90人もの先生方に、近隣からだけでなく遠方からもご参加いただき、ありがとうございました。

当院診療部門からの紹介に加え、がんゲノム医療についての話題提供があり、活発な意見交換も行われ、有意義な会となりました。

次回の第15回は、7月3日（土）17時からオンラインにて開催します。



最新型CT装置を導入しました

病院 放射線診断・IVR部

当院では2021年2月にCT装置1基を次世代型320列CT装置に更新しました(写真1)。この装置は、Deep Learning(深層学習)を応用したAI(人工知能)技術を利用して低被ばく、高画質の画像再構成を可能とする機能や、Dual Energy(2つの管電圧を使用)技術を用いた“スペクトル解析”の機能を備えています。



(写真1)

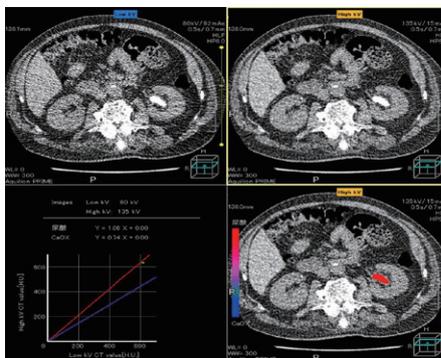
高画質の画像再構成技術

(Advanced intelligent Clear-IQ Engine : AiCE)

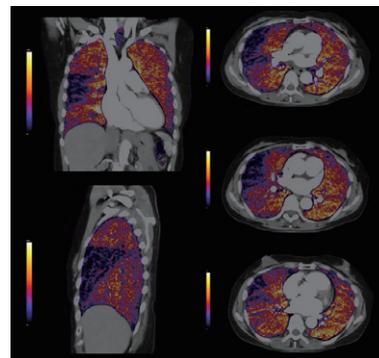
AiCEを利用することで、旧装置と比較し被ばく線量を約2/3程度低減でき、大幅なノイズ低減と高い空間分解能の維持が両立できるようになりました。

Dual Energy(DE)技術

2つの電圧を切り替えて撮影する機能を利用し、新しい画像再構成法と組み合わせることで、高いエネルギー弁別能とノイズ低減効果を得ることができます。そして、高品質なDEデータからCT値(CT画像濃度の相対値)の差だけでは判別困難であった様々な物質の弁別や、強調表示が可能となります。例えば、スペクトル解析により腎結石や胆のう結石等の成分を推定することができたり(写真2)、造影剤の強調画像を作成することで腫瘍や虚血部位をハッキリと描出させることができるようになりました(写真3)。また腎機能が低下している患者さんには、この技術により造影剤の量を低減することができるため、腎臓の負担を減らした検査が可能となりました。



(写真2)



(写真3)

キャノンメディカルシステムズ(株)提供

スタッフの紹介 放射線治療部

放射線治療部はレジデントも含め4名の医師でいろいろな種類のがんに対しての放射線治療を担当します。治療装置の進歩で高精度放射線治療が普及しており、治療効果は大幅に改良され副作用も減らせるようになりました。一方で治療計画や品質管理が複雑になってきており技師、医学物理士、外来看護師との質の高いチーム医療がより重要となっています。よりよい治療を患者さんに提供するため皆で力を合わせて頑張っています。



写真：左から、小出雄太郎(医長)、古平毅(部長)、立花弘之(医長)、宮内理世(レジデント)

新任医師の紹介

消化器内科部
倉石康弘



消化器内科部の倉石康弘です。長野県出身で長野県の病院で今まで働いていましたが、癌に関する専門的な業務への従事を希望し、2021年4月より当院に赴任となりました。患者さんに安心して、信頼してもらえるような医療が提供できるよう努めて参ります。

血液・細胞療法部
齋藤統子



2021年4月より血液・細胞療法部に着任いたしました齋藤統子と申します。悪性リンパ腫などの血液悪性疾患を診療いたします。患者さんに最良の医療を提供できるように努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

婦人科部
安井啓晃



安井啓晃です。臨床医として7年働き、がんをより深く理解するため、がんの微小環境とがんゲノムの研究に従事していました。今までのキャリアを役立てていけたらと思っております。それではよろしくお願ひ致します。

医療安全管理部
佐藤沙良



4月から赴任いたしました佐藤沙良と申します。循環器内科と医療安全管理部を兼任させていただきます。安心かつ安全な医療を提供できるよう努めたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。

医療連携室のご案内

対応時間	月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く)
電話	052-764-9892 (直通)
FAX	052-764-9897 (24時間稼働しております。)
ホームページ	https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/hosp/ 病院トップページ右手にある「医療連携」のバナーをクリックしてください。 利用の手引や様式など、詳細を掲載しております。

外来診療案内

受付時間	午前8時30分～午前11時30分 (自動再来受付機による受付は午前8時からできます。)
休診日	土・日・祝日、年末年始
診療科	消化器内科、呼吸器内科、循環器科、血液・細胞療法科、薬物療法科、頭頸部外科、形成外科、呼吸器外科、乳腺科、消化器外科、整形外科(サルコーマ外来)、脳神経外科、泌尿器科、婦人科、皮膚科、眼科、放射線診断・IVR科、放射線治療科、精神腫瘍科、緩和ケア科(ペインクリニック)、リンパ浮腫外来、リスク評価センター、がんゲノム外来
外来診療担当一覧	毎月1回、月初めに更新しています。詳しくはホームページをご覧ください。
休診情報	お電話またはホームページでご確認ください。

※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時 (土・日・祝・年末年始を除く)
 ※セカンドオピニオン外来は、全科で対応しています。(完全予約制・自由診療)
 ※精神腫瘍科、リスク評価センターは、予約のみの対応です。

交通のご案内

★公共交通機関のご案内

地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのご案内

- ◎一般道路
 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- ◎高速道路
 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
 名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分

※詳しくはホームページをご参照ください。



愛知県がんセンター 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 編集：運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

ホームページ <https://www.pref.aichi.jp/cancer-center/>

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想は [☑\(kohonews@aichi-cc.jp\)](mailto:kohonews@aichi-cc.jp) または FAX(052)764-2963 にてお寄せください。

なお、個別の返答は致しかねますのであらかじめご了承ください。